6　その他参考となるべき事項

様式の項目	事　　項

記載上の注意事項（下記の項目の番号は，様式の項目番号による。）

1　届出の概要

⑴　届出会社に関する事項の概要

ア　最近５年以内に名称を変更した場合は，旧名称を付記すること。

イ　届出会社が外国会社である場合は，名称の欄の（　）内に，国籍を付記すること。

ウ　国内売上高合計額とは，法第10条第２項に規定する国内売上高合計額をいう。

エ　国内売上高合計額については，百万円未満を切り捨てること。

オ　国内売上高を算出する際には，売上高を期中平均相場等決算時の処理において用いる為替相場で邦貨換算すること。その際に用いた為替相場の算出方法を「６　その他参考となるべき事項」の欄に記載すること。

⑵　届出の対象となる株式発行会社に関する事項の概要

ア　株式発行会社が外国会社である場合は，名称の欄の（　）内に，国籍を付記すること。

イ　株式発行会社及びその子会社の国内売上高の合計額とは，法第10条第２項に規定する株式発行会社の国内売上高及び当該株式発行会社の子会社の国内売上高を合計した額をいう。

ウ　株式発行会社及びその子会社の国内売上高の合計額については，百万円未満を切り捨てること。

エ　株式発行会社又はその子会社が外国会社である場合，国内売上高を算出する際には，期中平均相場等決算時の処理において用いる為替相場で邦貨換算すること。その際に用いた為替相場の算出方法を「６　その他参考となるべき事項」の欄に記載すること。

オ　子会社とは，法第10条第６項に規定する子会社をいう。

カ　議決権保有割合とは，届出会社の属する企業結合集団に属する会社等が取得し，又は所有する（以下この記載上の注意事項において「保有する」という。）株式発行会社の株式に係る議決権の数を合計した数の当該株式発行会社の総株主の議決権の数に占める割合をいう。

キ　議決権保有割合は，小数点以下２けたを四捨五入し，小数点以下１けたまで記載すること。

⑶　株式取得の目的・理由・経緯・方法

株式取得の方法については，株式の取得先の名称，取得する株式の数及び取得のために用いる方法等を具体的に記載すること。

2　届出会社の概要

⑴　届出会社に関する事項

ア　届出会社が国内の会社である場合は，国籍，日本国内に支店その他営業所がある場合の名称及び所在地並びに現地通貨については，記載を要しない。

イ　届出会社が外国会社である場合は，名称の欄の（　）内に，国籍を付記すること。

ウ　資本金は，最終の貸借対照表による資本金の金額を記載すること。

エ　総資産は，最終の貸借対照表による総資産の金額を記載すること。

オ　売上高は，最終の貸借対照表と共に作成した損益計算書による売上高の金額を記載すること。

カ　資本金，総資産及び売上高については，百万円未満を切り捨てること。

キ　届出会社が外国会社である場合，資本金，総資産及び売上高については，期中平均相場等決算時の処理において用いる為替相場で邦貨換算すること。その際に用いた為替相場の算出方法を「６　その他参考となるべき事項」の欄に記載すること。総資産は，その外国会社単独の総資産を記載すること。ただし，やむを得ない事情がある場合は，連結決算書による総資産をもって代えることができる。この場合は，連結決算書による総資産であることを「６　その他参考となるべき事項」の欄に記載すること。

ク　主たる事業は，国内において最も売上額の多い事業を記載すること。その他の事業は，主たる事業以外の事業を売上額の多い順に記載すること。

ケ　「常時使用する従業員」とは，事業主又は法人と雇用関係にある者であって，その雇用契約の内容に常雇する旨が積極ないし消極に示されている者をいい，事業主及び法人の役員若しくは臨時の従業員（労働基準法（昭和22年法律第49号）第21条に定める「解雇の予告を必要としない者」をいう。）はこれに含まない。

コ　「取引所金融商品市場等への上場の有無」については，該当する□にＶ印を付し，届出会社がその株式を金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第２条第17項に規定する取引所金融商品市場若しくは同条第８項第３号ロに規定する外国金融商品市場又は同法第67条第２項に規定する店頭売買有価証券市場若しくはこれに類似する市場で外国に所在するもの（以下「取引所金融商品市場等」という。）に上場している場合は，取引所金融商品市場等の名称及び取引所金融商品市場等を開設する者の名称を記載すること。複数の取引所金融商品市場等に上場している場合は，そのすべてを記載すること。

⑵　届出会社の子会社である組合に関する事項

ア　届出会社の子会社である組合とは，法第10条第５項の規定の適用により，組合の親会社である届出会社が株式発行会社の株式の取得をしようとするものとみなされる場合における当該組合をいう。

イ　届出会社の子会社である組合が外国会社である場合は，名称の欄の（　）内に，国籍を付記すること。

ウ　該当する□にＶ印を付すこと。

エ　組合員の区分については，該当する□にＶ印を付すこと。

オ　現に営む事業の概要は，事業内容が分かるように具体的に記載すること。

⑶　届出会社の属する企業結合集団の概要

ア　最終親会社とは，届出会社の親会社であって他の会社の子会社でないものをいい，届出会社に親会社がない場合は，当該届出会社をいう。

イ　子会社については，１⑵に同じ。

ウ　最終親会社が国内の会社である場合は，国籍，日本国内に支店その他営業所がある場合の名称及び所在地並びに現地通貨については，記載を要しない。

エ　最終親会社が外国会社である場合は，名称の欄の（　）内に，国籍を付記すること。

オ　資本金，総資産，売上高，主たる事業，その他の事業，常時使用する従業員数及び取引所金融商品市場等への上場の有無については，⑴に準じて記載すること。

カ　届出会社との関係は，以下の選択肢の中から該当する記号を選択し，記載すること。複数の選択肢に該当する場合は，そのすべてを記載すること。

Ａ　当該会社と届出会社は，同種の商品又は役務を供給している（取引段階を異にする場合を除く。）。

Ｂ　当該会社は，届出会社から商品又は役務の供給を受けている。

Ｃ　当該会社は，届出会社に商品又は役務を供給している。

Ｄ　当該会社と届出会社は，同種の商品又は役務を異なる市場に供給している。

Ｅ　当該会社と届出会社は，関連性のある異種の商品又は役務を供給している。

Ｆ　ＡからＥまでのいずれにも該当しない。